

日付	2019年7月29日(月)	天候	晴れ
主な日程	セアザ市場 ピラルク養殖場 レジストロ市 ファームステイ		
時間	研修内容	研修の写真	
8:45 セアザ市場	サンパウロ市内にある南米最大の市場、セアザ市場に行き、バナナの卸売り店を見学しました。始めに保存の方法やその工夫を伺いました。その後、バナナの品種について実物を見せてもらいながら説明を伺い、バナナの産地や流通について学びました。また、バナナを保存・追熟する冷蔵庫も見せていただきました。		
11:30 ピラルク養殖場	ピラルクを養殖している江尻さんを訪ねました。江尻さんは、元々は家族で鍋の生産をされていたようですが、それをやめて、ピラルクの養殖を始められたようで、その経緯から詳しく話していただきました。江尻さんはご自身が魚好きだったことや、サンパウロ市内であまり食べられていなく競争相手が少ないことなど、いろいろ考えた上で、ピラルクの養殖を始めたという経営の視点からの話に興味をもちました。現在は年間900匹を養殖していらっしゃり、その現場を見せていただきました。飼育段階によって、水槽を変えてあり、最終段階のものはとても大きくて驚きました。その後、あまり食べることができないピラルクの刺身や唐揚げをいただきました。	 	
15:00 レジストロ分協会	レジストロ文化協会の方と合流し、レジストロ植民地について、バスの中で話を聞きました。その後、文化協会の施設を訪問し、移民の歴史についてプレゼンを見ながら聞きました。現地で土地を買い開発して自ら営農された話を聞き、先人たちの苦勞を知ることができました。また、日本人の誇りを忘れないように教育に力を入れた話も印象に残りました。 話を聞いた後、訪問の記念に、CANERA PR ETAという黒いシナモンの木を植樹させていただきました。		
18:00 天谷農園	天谷農園の施設を見学させていただきました。残念ながら工場が稼働している時期ではありませんでしたが、設備を見ながら説明を聞きました。また、お茶の輸出入やブラジルでの需要について学ぶことができました。さらに近くに建つ、日本建築の技術を取り入れたブラジルの世界遺産の家も見学しました。 レジストロ文化協会に戻り、宿泊させていただく現地の方と会いました。4グループに分かれ、夕食からそれぞれの家庭でお世話になりました。		
1日を終えて	本日の研修は内容が多く、移民の方の苦勞から現在のブラジル農業の生産・加工・流通など幅広く学ぶことができました。明日は現地での農業実習があるのでとても楽しみです。明日からも積極的に学びたいと思います。 文責：大西 峻介		